

認知症 初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームとは

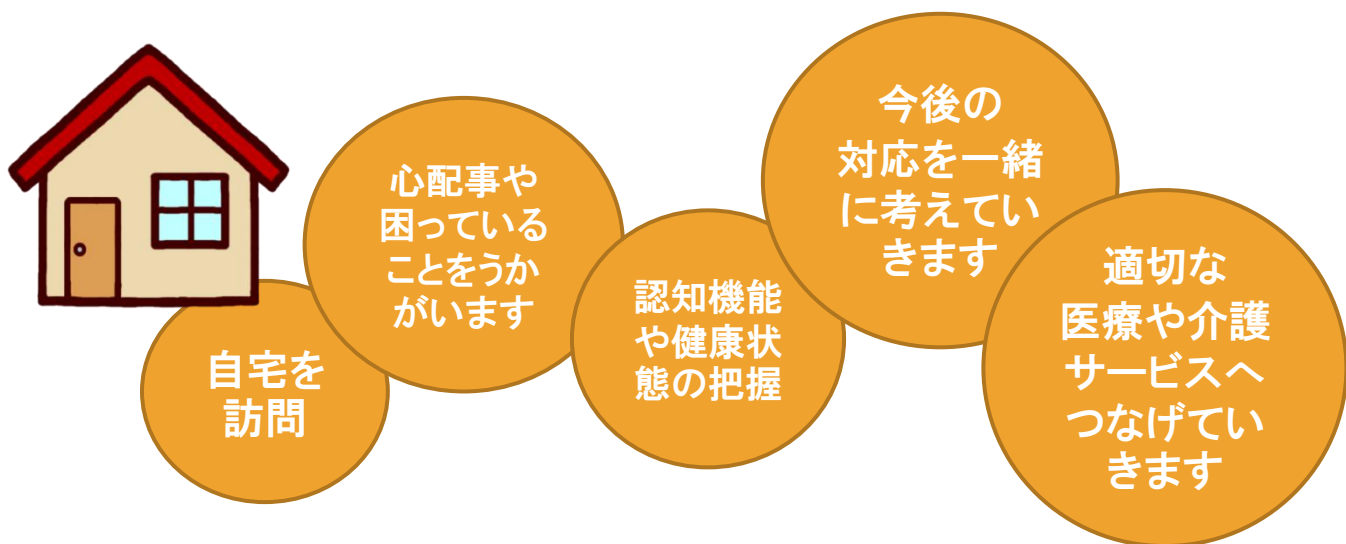
認知症の早期診断・早期対応を目的とした、認知症専門の医師と医療・介護の専門職(看護師・作業療法士・精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士など)で構成したチームです。



認知症は特別な病気ではなく、誰でも起こりうる脳の病気です。

認知症になっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期に認知症の人やその家族に関わります。

適切な医療や介護などのサービスにつながり、在宅生活が続けられるように、おおむね6か月以内を目安に支援を行います。



【対象者】

在宅で生活されている40歳以上の認知症の方、またはその疑いのある方で、次のいずれかに該当する方。

- ①適切な医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人
- ②医療・介護サービスを受けているが、認知症の症状が悪化して悩んでいる人



まずは、
高齢者相談センターへ
ご相談ください。

三原市では、市からの委託を受け、2チームが活動しています。

東部・南部・中央地域担当：三原病院チーム

西部・北部地域担当：小泉病院チーム

【お問い合わせ先】 三原市高齢者福祉課 ☎0848-67-6055